

- 問1 琵琶湖における赤潮の発生日数は、1970年代後半から現在にかけて大幅に減少しています。この改善の背景にある、滋賀県が全国平均を上回るペースで積極的に推進してきた公共施設の整備状況と、その効果についての説明として正しいものはどれですか。（2026年 兵庫県公立入試 類似）
1. 高速道路の整備を優先することで、沿岸部での物流による交通渋滞を緩和し、排気ガスの影響を低減させた。
 2. 下水道普及率を大幅に向上させることで、家庭の汚水が直接湖に流れ込まない仕組みを強化し、水質改善につなげた。
 3. 太陽光発電の普及率を高めることで、化石燃料による汚染物質の流入を防ぎ、生態系の保全を進めた。
 4. 大規模な多目的ダムを建設することで、湖水の循環を人為的に早め、有害物質を短期間で海へ流し出す体制を整えた。
- 問2 近畿地方の産業構造において、兵庫県と京都府の特色を比較した説明として最も適切なものはどれですか。統計上、一方の府県は重化学工業による製造業出荷額が大きく、農業ではブランド畜産が盛んです。もう一方は、西陣織などの地場産業に加え、観光資源を背景としたサービス業に強みを持っています。（2026年 兵庫県公立入試 類似）
1. 京都府と兵庫県はともに農業産出額において米が占める割合が最も高く、製造業の出荷額を上回る主要産業となっている
 2. 兵庫県は伝統的な地場産業と観光に伴う宿泊業が中心であり、京都府は重化学工業による製造業出荷額が極めて大きい
 3. 京都府は宿泊・飲食サービス業の売上高の割合が高く、兵庫県は製造業出荷額や畜産業の産出額が大きい
 4. 兵庫県は内陸部での先端技術産業と観光業が主であり、京都府は臨海部での大規模な重化学工業が産業の柱となっている
- 問3 近畿地方において、鉄道による旅客輸送量が他の地方と比較して非常に多くなっている主な理由として、適切な説明はどれですか。（2017年 山形県公立入試 類似）
1. 自動車の所有率が全国で最も高く、道路渋滞を避けるための代替手段として鉄道が特別に整備されたため。
 2. 広大な平野部を活かした大規模な農業生産が行われ、農産物の市場輸送に鉄道が多用されているため。
 3. 重化学工業の拠点が内陸部に集中しており、工業原料や製品の運搬に旅客列車が優先的に転用されているため。
 4. 大阪を中心に複数の主要都市が密接しており、都市間を結ぶ鉄道網の発達と高い人口密度があるため。
- 問4 2016年に開催された主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）の会場となった賢島がある地域について、その地理的特徴と都道府県名の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 静岡県公立入試 類似）
1. 近畿地方の東部に位置し、東側で伊勢湾に面している三重県
 2. 近畿地方の中央部に位置し、日本最大の湖である琵琶湖を擁する滋賀県
 3. 中部地方に位置し、伊勢湾の東側に広がる濃尾平野を有する愛知県
 4. 近畿地方の南部に位置し、黒潮の影響を強く受ける和歌山県
- 問5 日本の人口移動と地域課題について述べた会話文において、人口が集中している東京、大阪、名古屋などの都市部と、人口減少が著しい地方農村部の対比が議論されています。このように、特定の都市に人口や機能が過度に集中することで発生する課題として、最も適切なものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
1. 農村部での耕作放棄地が減少し、食料自給率が向上する
 2. 地方自治体の税収が増加し、公共交通機関の維持が容易になる
 3. 住宅不足や交通渋滞、ゴミ処理問題などの過密問題が発生する
 4. 都市部での地価が急激に下落し、広い住宅の確保が容易になる
- 問6 日本の総人口に占める三大都市圏の人口割合を比較した際、東京大都市圏に次いで2番目に高い割合（約14.4%）を示し、大阪市、神戸市、京都市などの政令指定都市を含む都市圏の名称として最も適切なものを選びなさい。（2022年 青森県公立入試 類似）
1. 東京大都市圏
 2. 名古屋大都市圏
 3. 北九州大都市圏
 4. 大阪大都市圏
- 問7 大阪大都市圏の特徴に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。（2022年 青森県公立入試 類似）
1. 大阪市、京都市、神戸市の三つの政令指定都市が中心となって圏域を形成している
 2. 本州と四国を結ぶ交通の要衝として、瀬戸大橋を通じて経済圏が拡大している
 3. 中京圏とも呼ばれ、自動車産業を中心とした工業地帯として発展している
 4. 日本最大の人口規模を持ち、国会議事堂や最高裁判所などの首都機能が集中している
- 問8 近畿地方の中央部に位置する大阪平野は、周囲を山地に囲まれながらも広大な平坦地を有しています。この地形的特徴が、近畿地方の都市形成や社会に与えた影響についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 群馬県公立入試 類似）
1. 平地全体が海面よりも低いため、大規模な干拓事業が行われるまで居住が不可能な地域であった。
 2. 平坦な土地が広範囲に続くため、古くから人口が集中し、大規模な都市圏が形成される基盤となった。
 3. 周囲の山々が険しいため、他の平野部との交流が困難になり、地域ごとに完全に独立した経済圏が発達した。
 4. 複雑に入り組んだリアス海岸が続く地形であったため、大型船が接岸できる港湾の整備が遅れた。
- 問9 日本の諸地域の気候を分析した資料において、ある都市は、夏から秋にかけて降水量のピークが見られる一方で、冬の降水量は非常に少なくなるという、太平洋側の気候に近い特徴を示しています。瀬戸内海沿岸に位置しながらこのような降水パターンの特徴を持つ都市として、最も適切なものを答えなさい。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）
1. さいたま市
 2. 福岡市
 3. 大阪市
 4. 新潟市
- 問10 滋賀県にある主要な城郭の変遷をたどると、戦国時代初期の小谷城などは険しい山の上に築かれていましたが、その後の長浜城、彦根城、安土城、大溝城、坂本城はいずれも琵琶湖の湖岸近くに位置しています。このように、有力な武将たちが拠点を湖岸へと移していった歴史的背景に関連する記述として、誤っているものはどれですか。（2024年 滋賀県公立入試 類似）
1. 湖上の交通の要所を支配することで、年貢や特産物の流通を管理し、経済的な利益を得る目的があった。
 2. 船を活用することで、陸路よりも大量の兵員や重い軍需物資を迅速に輸送することが可能であった。
 3. 城の周囲に水を引き込んだり湖に面したりすることで、敵による包囲や攻城を困難にする防御上の利点があった。
 4. 当時は鉄砲が伝来する前であったため、矢の届かない広い水面を確保して安全に生活することが唯一の目的であった。
- 問11 兵庫県の産業や社会指標の特徴について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれか。（2023年 徳島県公立入試 類似）
1. 広大な農地を活かした農業産出額が工業製品出荷額を上回っており、農村部が多いため住宅一戸建率が高い。
 2. 重要文化財の指定件数が全国で最も少ないため、観光業よりも重化学工業への依存度が極端に高い。
 3. 県内全域で宅地造成が進んでいるため、住宅一戸建率が近畿地方の府県の中で最も高い数値を示している。
 4. 阪神工業地帯などの影響で工業製品出荷額が高く、都市部では集合住宅が多いため住宅一戸建率は低い。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 下水道普及率を大幅に向上させることで、家庭の汚水が直接湖に流れ込まない仕組みを強化し、水質改善につなげた。	滋賀県における水質改善の大きな要因の一つに、下水道整備の推進が挙げられます。1970年代後半から2020年にかけて、滋賀県の下水道普及率は全国平均を大きく上回る勢いで上昇しました。これに伴い、生活排水が適切に処理施設へ送られるようになったため、湖に流入する栄養塩類が減少し、赤潮の発生日数が激減するという相関関係が見られます。このように、法規制だけでなくインフラ整備を並行して行ったことが、環境保全において重要な役割を果たしました。
問2	答え 3 京都府は宿泊・飲食サービス業の売上高の割合が高く、兵庫県は製造業出荷額や畜産業の産出額が大きい	京都府は京都市を中心に多くの歴史的建造物があり、国内外から多くの観光客が訪れるため、宿泊・飲食サービス業の売上高が他の府県に比べて突出しているのが特徴です。一方、兵庫県は阪神工業地帯や播磨工業地域を含み、鉄鋼や造船といった重化学工業が発達しているため、製造業出荷額が大きくなります。また、兵庫県は「但馬牛」に代表されるブランド畜産が盛んであり、農業産出額に占める畜産の割合が高いことも重要な特色です。
問3	答え 4 大阪を中心に複数の主要都市が密接しており、都市間を結ぶ鉄道網の発達と高い人口密度があるため。	近畿地方は、京阪神と呼ばれる大阪・京都・神戸の三都市が経済・文化的に強く結びついた「都市圏」を形成しています。これらの中核都市を結ぶように鉄道が整備され、周辺のベッドタウンから都市部への移動手段として鉄道が定着しているため、旅客輸送量が非常に多くなります。
問4	答え 1 近畿地方の東部に位置し、東側で伊勢湾に面している三重県	伊勢志摩サミットの会場となった賢島は三重県志摩市にあります。三重県は地理的に紀伊半島の東側半分を占めており、その北東部は伊勢湾に面しています。また、三重県は行政区分上は近畿地方に分類されますが、歴史的・経済的には中部地方との交流も活発な地域です。
問5	答え 3 住宅不足や交通渋滞、ゴミ処理問題などの過密問題が発生する	高度経済成長期以降、三大都市圏（東京・大阪・名古屋）には多くの人口が流入しました。これにより、都市部では過密による住宅難や通勤ラッシュ、大気汚染、ゴミ問題などの「過密問題」が発生した一方で、地方では若者の流出により「過疎問題」や「限界集落」の発生が深刻な課題となっています。
問6	答え 4 大阪大都市圏	日本の三大都市圏は、人口規模の大きい順に東京大都市圏、大阪大都市圏、名古屋大都市圏となります。大阪大都市圏は、大阪府を中心に兵庫県、京都府、奈良県などに広がり、京阪神とも呼ばれる地域を含んでいます。設問にある約14.4%という数値や、京都・神戸が含まれるという特徴は大阪大都市圏に該当します。
問7	答え 1 大阪市、京都市、神戸市の三つの政令指定都市が中心となって圏域を形成している	大阪大都市圏は、商業都市である大阪市だけでなく、歴史都市である京都市、港湾都市である神戸市という性格の異なる複数の大都市が連携して成り立っている点が大きな特徴です。日本最大の人口規模と首都機能を持つのは東京大都市圏、自動車産業が中心で中京圏とも呼ばれるのは名古屋大都市圏の説明です。
問8	答え 2 平坦な土地が広範囲に続くため、古くから人口が集中し、大規模な都市圏が形成される基盤となった。	大阪平野は、紀伊山地などの険しい地形とは対照的に、広大な平坦地が確保されています。この地形的な利点に加え、瀬戸内海や淀川といった水運の便も重なり、古くから政治・経済の要所として人々が集まり、日本屈指の都市圏である大阪大都市圏の形成につながりました。
問9	答え 3 大阪市	大阪市は瀬戸内海沿岸に位置していますが、夏から秋にかけては梅雨や台風の影響で降水量が多くなり、冬は北西の季節風が山地によって遮られるため、乾燥して降水量が少なくなるという太平洋側の気候に近い特色を持っています。対して、日本海側に近い福岡市などは冬にある程度の降水量が見られ、内陸のさいたま市とは降水量の年変化の幅が異なります。
問10	答え 4 当時は鉄砲が伝来する前であったため、矢の届かない広い水面を確保して安全に生活することが唯一の目的であった。	安土城や長浜城が築かれた時代は、すでに鉄砲が合戦の主力となっており、城の構造も鉄砲戦を意識したものに变化していました。湖岸への立地移動は、単なる安全確保（生活の場）のためではなく、水運による「流通の支配」と「迅速な軍隊移動」という、天下統一に向けた政治的・経済的な戦略に基づいたものです。一方、以前の山城（小谷城など）は、交通の利便性よりも山岳地形を利用した防御に特化したものでした。
問11	答え 4 阪神工業地帯などの影響で工業製品出荷額が高く、都市部では集合住宅が多いため住宅一戸建率は低い。	兵庫県は、南部を中心に工業化と都市化が非常に進んでいる県です。工業面では瀬戸内海沿岸を中心に大規模な工場が集積し、高い出荷額を誇ります。居住環境については、利便性の高い都市部に人口が集中し、効率的な土地利用として集合住宅が選ばれることが多いため、統計上、住宅一戸建率は低くなります。また、歴史的建造物も多く、文化財の多さと工業の発展が共存している点も大きな特徴です。